

		情報発信	コミュニティ形成・連結	プロジェクト創出	プロジェクトのショーケース
アウトプット(事業量)	目標・事業計画(年間)	情報発信 700 件 [700]	① イノベーション人材のコミュニティ形成 72 回 [72] 学生、VC、起業家、支援機関、企業対象としたイノベーター人材のコミュニティ形成のためのセミナー等 ② 海外ワークショップ(学生、起業家) 1 回 [1]	① ニーズ顕在化プロジェクト構築プログラム 2 回 [3] ② プロジェクト創出プログラム 8 回 [12] うち、オープンイノベーションマッチング 4 回 [4] ③ ピッチイベント 42 回 [35] ④ OIHシードアクセラレーションプログラム(OSAP) 2 回 [2]	● 国際イノベーション会議開催 プロジェクトのプロモーション機会創出 参加者：700人以上 [650人以上] 国際会議 1 回 [1]
	実績(上半期)	● イベント告知 日本語 199 本、英語 2 本 ● イベントレポート 日本語 2 本、英語 2 本 ● 起業家紹介等 日本語 4 本、英語 0 本 ● ニュース 日本語 21 本、英語 6 本 ● HP新コンテンツ 日本語 26 本 ● FB 投稿 日本語 228 本、英語 27 本 ● メルマガ 16 本、DM30 本、プレスリリース 2 件 計 565 [933] (内他自治体のイベント発信件数 21 件 [11]) ・他自治体でのイベント発信件数 13 件 [7]	① イノベーション人材のコミュニティ形成 93 回 [181] ② 海外ワークショップ 一回 [2]	① 5 回 [5] ② 8 回 [16] 3 回 [5] ③ 23 回 [52] ④ 1 回(第 3 期) [2]	● 国際イノベーション会議「Hack Osaka 2018」を平成 30 年 2 月 27 日(火)に開催予定 ● 参加者数 一人 [737 人]
アウトカム(成果)	目標・達成水準(年間)	国内外のメディアに取り上げられる 定量的指標 (開設(H25)～30 年度累計) ① HP のユーザー数 326,000 [H25～27 計 100,000] ② FB の「いいね」数 8,300 [" 4,000] ③ メルマガ登録者数 22,000 [" 10,000] ④ 展示会出展 1 回 [-] 定性的指標 ● メディア掲載数及びメディアによる評価	起業・イノベーション創出を担う人材を輩出する多様なコミュニティの活動が活性化している 定量的指標 (開設(H25)～30 年度累計) ① 会員制度(OIH メンバース、旧 Osaka Hackers Club)登録者数 1,000 [H25～27 計 600] ② OIHメンバース会員(プレイヤー・パートナー)が持つ情報発信対象者数 33,000 [H25～27 計 9,000] 定性的指標 ● コミュニティの形成が促進されている ● 多様なコミュニティが参画している ● グローバルネットワークが形成されている	イノベーション創出に資するプロジェクトが具体化している 定量的指標 (H28～30 年度累計) ① 事業化プロジェクト創出・推進支援件数 50 件以上/年(H28～H30 150 件以上) [H25～27 計 100] (投資を受けたプロジェクト(調査回答分)25 億円 [-]) (事業化定義) ● 守秘義務、共同研究等契約関係、ソフトウェア等における試作版の公開、資金調達に向けた具体的アクション ● スーパープロデューサーが認定したもの	国内外から注目度が高いプロジェクト発表の場として、国際イノベーション会議が評価される 定量的指標 ① 海外関係からの参加者数 100 人程度 [100] ② メディアでの掲載数 10 件以上 定性的指標 ● メディアによる評価内容 ● YouTube、Facebook の情報発信効果
	目標設定の考え方	平成 27 年度の実績を勘案して設定している	平成 27 年度の実績を勘案して設定している	25 年～27 年度の 3 ケ年で、プロジェクト創出支援 100 件を目標。27 年度の目標 50 件を 28 年～30 年度に継続	時宜にあったテーマ設定や効果的な情報発信を行うことで、少なくとも昨年度並みの成果を設定している
	実績(上半期)	定量的指標 (H25～30 年度累計) ① 271,185 [H25～28 計 240,247] ② 6,675 [" 6,209] ③ 15,348 [" 14,180] ④ 1 [-] 定性的指標 (国際会議含む) ● WEB メディア掲載 16 回 [41] ● 新聞・雑誌掲載 12 回 [13] ● テレビ放映 4 回 [5] ● 昨年度からの OIHシードアクセラレーションプログラム参加企業が新聞等で取り上げられるようになっている。また、大阪府とともにベンチャー支援の取組みについてテレビで紹介された。	定量的指標 ① 854 人(プレイヤー 599 人、パートナー 255 人) [H25～28 計 761(537、224)] ② 108,465 人 [H25～28 計 104,885] 定性的指標 関係先とネットワーク構築 ● 大阪弁護士会がパートナー登録。法務面の支援充実が期待できる。 ● 海外のピッチイベントへの参加や、海外支援機関との連携による起業家の相互受入提携等により米(シリコンバレー、ピッツバーグ)、仏、イスラエル、スイス、シンガポールなどにもネットワークが拡大。 ● ジェトロ大阪と初めて深圳ジェトロ・イノベーション・プログラム(JIP)を開催し、海外市場をめざす企業等のメンタリングを実施、深圳の現地アクセラレーターとのネットワークを構築。	定量的指標 ビジネスプランコンテストや、プログラムでの成果発表等を通じて形成されたチームの状況の把握に努めている。 ① 一件 [56] (シードアクセラレーションプログラム事業の 20 件を含み 56 件) [H25～27 計 115 件] (投資を受けたプロジェクト※ 約 9 億円。融資を含め約 16 億円) [H25～27 計約 17 億円] ※OSAP 参加企業の実績。その他 OIH で支援した企業への投資額は H30 年度に集計	定量的指標 ① 外国人参加者数 一人、比率 一人 [94/737 で 12.8%] ② 一件 [13 件] 定性的指標 ・Ustream 視聴者数：一件 [384] ・Facebook 投稿：一件 [41] ・Facebook いいね：一件 [131] 他 ● 国際イノベーション会議は、平成 30 年 2 月 27 日(火)にうめきたコンプレックスセンターで開催予定。 ● テーマ：「つながる力・つなげる力でセレンディピティを生み出す-Give Before You Get-」 ● キーノート：Tiantian Zhang 氏 (Co-founder of Vigo Technologies)、グローバルチャレンジアクト：須田健太郎氏 (FREEPLUS 創業者) 他 ● インターナショナルピッチコンテスト(ヘルスケア、トラベルテック分野等)、スタートアップショーケース(展示ブース)なども開催予定

<p>自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信数は、年間の発信目標数に向けて順調に推移しているが、英語での発信については、昨年同時期 46 本から 37 本に減少しており、更なる取組が必要。 ●海外との連携事業も増加傾向にあり、それらによっても発信につながっていると認識している。 ●ユーザーが必要な情報を探しやすいよう、OIHの Web サイトを 9 月 1 日に全面改修・リリースし、OIHを応援して下さるメンターの紹介や先輩起業家の成功事例等を掲載。 ●「TechInAsiaTOKYO」に出展し、東京圏におけるプロモーションにも注力した。出展ブースには東京圏のみならず、アジアをはじめ世界各国のスタートアップが集結しOIHのPR及びプレイヤーの勧誘を行った。 ●また、プレス配信事業者の協力のもと、OIH会員企業のプレスリリースを支援する新サービスを年度末まで試行実施。 ●アウトカムも目標達成に向けて堅調。メディア紹介は、支援しているベンチャー企業が取り上げられる機会が多くあった。こうした企業が大阪・関西を拠点として活動しており、それを支援しているのがOIHであるという発信をめざし、「イノベーション都市・大阪」のイメージ向上につなげていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部団体との共催イベントの誘致によって、イベント数、参加者数ともに順調。イベント開催数は、上半期ですでに年間計画数を超えている。 ●本年度、OIHの会員組織を「大阪ハッカーズクラブ」から「OIHメンバーズ」へと改称。会員数も目標に対し順調に推移している。会員に対するサポートとして、新事業創出のための活動スペースの提供や、メンター制度を整備した。 ●米国やシンガポールのアクセラレーター(500Startups やTechstars他)、フランス大使館、スイス大使館、イスラエル大使館、JETRO などと連携し、メンタリングや海外ピッチイベントの日本予選など、海外展開支援の体制を強化した。 ●経産省のイントルプレナー育成事業「始動」参加メンバーとの連携により、新たに「イントルプレナーミートアップ」プログラムを構築。昨年度に引続き、大企業新規事業担当者を OIH に誘引している。 ●そのほか、大阪商工会議所や大阪弁護士会など連携の幅が広がっている。大商の実証実験やAIビジネス支援事業と、OIHのリソースをつなげることで、大阪のイノベーション創出の取組みの充実につなげていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●上期はアメリカのアクセラレーター 1776 が主催するピッチイベント「チャレンジカップ」の日本予選、世界最大規模のネットワークを誇る Angel Hack によるハッカソン、スイス大使館と連携し、スイス郵政公社との初めてのオープンイノベーション等を実施し、グローバル展開を推進した。下期も海外に挑戦するベンチャー、海外から本市に来るベンチャーをさらに増やしていきたい。 ●起業家人材を増やすため、学生等を対象とした教育事業(ニーズ顕在化プログラム)を実施しているが、外部団体との連携によって、参加者数や内容も充実したプログラムを実施。プロジェクト創出につながるチームの輩出も期待できる。 ●OIHの新事業創出のための活動スペースやメンター制度といったサービスでフォローし、ゴールであるピッチイベントにつながるよう、適切に誘導していく。 ●大学のシーズを活用したプロジェクト創出をめざし、大学の産学連携担当等へヒアリングを行うとともに、大阪大学ベンチャーキャピタルと初めてテックミーティングを開催した。有望なシーズ活用先とのマッチングや、事業化を進めることができる人材の確保など課題は多く、OIHでの支援策を検討していく必要がある。 	
-------------	--	---	---	--